

企業と地域の連携事例から新潟の未来を考える



長岡市

「企業と地域プロジェクト IN 新潟

地域を越えて紡ぐ未来」を開催

このたび経済産業省関東経済産業局が主催し、長岡市と新潟県が共催する「企業と地域プロジェクト※ IN 新潟 地域を越えて紡ぐ未来」が開催されます。

本イベントは、地域との連携に積極的に取り組む成長志向の中堅・中小企業から、地域との関わりや成長要因、課題などを講演いただき、地域における企業支援に対する共通理解と機運醸成を目指すものです。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

企業と地域プロジェクト IN 新潟 地域を越えて紡ぐ未来

- 日時** 2月3日（火）午後2時～5時
- 会場** 米百俵プレイス ミライエ長岡 4階 ミライエステップ
（長岡市大手通2-3-10）
- 内容**
 - 第1部 新潟県の成長志向企業について
講演企業 株式会社帝国データバンク新潟支店
 - 第2部 企業と地域について
登壇企業 藤田金属株式会社
Jマテ、カッパープロダクツ株式会社
メーカーズシャツ鎌倉株式会社
 - 第3部 登壇企業によるパネルディスカッション
 - 第4部 情報共有・名刺交換会
- 対象** 自治体、支援機関、金融機関（定員50人）
- その他** 詳細は別添チラシをご覧ください。

※企業と地域プロジェクト（きちプロ）

経済産業省が令和8年度経済産業政策の重点として掲げる「地域の成長と賃上げを牽引する中堅・中小企業の成長支援」を目的に、成長志向の中堅・中小企業の講演やパネルディスカッションを通じて、地域における企業支援に関する共通理解と機運醸成を目指して、各地で開催されている取り組み。

問い合わせ：産業イノベーション課 門脇
TEL：0258-39-2402

企業と地域プロジェクトIN新潟

地域を越えて 紡ぐ未来

企業と地域の連携事例から 新潟の未来を考える

地域と連携する成長志向の中堅・中小企業の先進事例から企業は地域に何を望んでいるのか、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけをお届けします。

2026 **2.3** TUE
14:00-17:00

会場 米百俵プレイス ミライエ長岡 4階
新潟県長岡市大手通2-3-10

※お車でお越しの際はお手数ですがお近くの有料駐車場をご利用ください。

対象 自治体・支援機関・金融機関の方

参加無料 定員 **50**名

申込

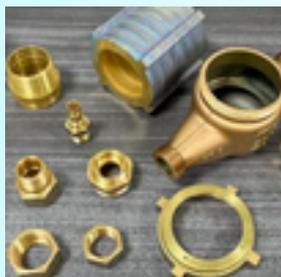


1.30(金)×切

※イベント時にチラシ配布希望の方は
事前にご連絡ください。

上記QRコードもしくは下記URLより申込ください。

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kanto-tiikishinkou/kichipuro-niigata>



第1部 (14:10~)

新潟県の成長志向企業について

株式会社帝国データバンク 新潟支店長 坂口 和隆 様

第2部 (14:30~)

企業と地域について

藤田金属株式会社 執行役員 管理本部 本部長 小笠原 竜一 様
Jマテ.カッププロダクツ株式会社 経営企画室 副部長 西本 俊介 様
メーカーズシャツ鎌倉株式会社 取締役 営業部門統括 佐野 貴宏 様

第3部 (15:40~)

パネルディスカッション

地域と連携をはじめたきっかけや、地域とのかかわり方、必要な支援・今後の成長イメージについて語っていただきます。

第4部 (16:15~)

情報共有・名刺交換会

登壇者はもとより、複数の地域の方をお呼びしております。この機会にぜひつながりを持っていただければと思います。

主催・経済産業省 関東経済産業局 共催・新潟県 長岡市

お問い合わせ

関東経済産業局
地域振興課 土田・藤田

☎ 048-600-0272 ✉ bzl-s-kanto-chishin@meti.go.jp

パネリスト・企業紹介



登壇者

執行役員 管理本部 本部長 小笠原 竜一

企業

藤田金属株式会社
(新潟県新潟市)

地域密着を掲げ、鉄の総合商社として鉄鋼製品の流通・加工を行う。地域振興のため、新潟の街づくりにも積極的に携わっており、今後、地元企業と協業してホテル事業を展開する。

登壇者

経営企画室 副部長

西本 俊介

企業

Jマテ.カッパープロダクツ株式会社
(新潟県上越市)

「めぐる資源 つながる未来」をスローガンに、銅合金に特化した製品を素材から一貫生産している。DXに強みを持ち、将来の人口減少に備えて地域全体の労働環境の変革を後押しする。



登壇者

取締役 営業部門統括

佐野 貴宏

企業

メーカーズシャツ鎌倉株式会社
(神奈川県鎌倉市)

「世界で活躍するビジネスパーソンをシャツで応援する」をモットーに、セールをしないビジネスモデルを貫く。綿花を自治体や小中学校と栽培し、素材から全て新潟県で製品を作るプロジェクトを実施中。

